

自然に親しむ「バードコール」の知識

本体の材質 クスノキ科クロモジ属の木を乾燥させたものです。

クロモジは古来より高級爪楊枝(ツマヨウジ)の材料として知られています。
(誤って舐めてしまっても危険の少ない木を使用します。)

金属部 一般のボルト(アイボルト)です。直径8mmのネジでホームセンターでも売っています。

(首下:ねじの部分は15mmのものが良いでしょう。普通はこれが販売されています)

制作方法 木材に直径7mmの穴を20mm以上の深さまで開けます。(8mmのボルトがきつく入るように) M8(8mm)のタップで(1番タップが最適)タップ長の1/3(10mm位)程度までネジ加工します。穴の中の削りかすを掃除する。(逆さにして軽くたたけばきれいになります)

使用方法 ボルトを軽くねじ込んでいきます。(ねじに合わせて入れないと、ねじが壊れてしまいます) 奥まで入って、重くなったところでねじ込むのをやめます。

ねじを少しずつゆるめてくると「きゅっ」と音の出るところがあるので、そこで止めます。

その位置でボルトを締めたりゆるめたりすると、音が出てきます。

何回もやっている、段々と良い音になってきます。(できれば半年以上使い込む)

穴が大きくなり音が出なくなったら、入り口を5mm位切り取れば再生出来る場合があります。

小鳥を呼ぶ 「きゅっ!きゅっ!」という音は、小鳥に聞こえる周波数成分を含んでいます。

小鳥は「なわばり」意識が強く、自分のなわばりに他の者が進入するのを警戒します。

しつこく「きゅっ!きゅっ!」と変な音を出すと、何が自分のなわばりに進入したのか見に来ます。

最初はこのようにして小鳥との出会いが始まります。(鳴き声が似ている必要はありません)

猫などが届かない場所に、小鳥の餌を置いておきます。(アワ、ヒエ、玄米など)

小鳥は侵入者を警戒してなわばりの中を見に来たとき、餌がある事を発見します。

小鳥は「きゅっ!きゅっ!」という音がするところに行けば、餌があるという事を学習します。

ヤマガラ、シジウカラなどが最初に訪れるでしょう。

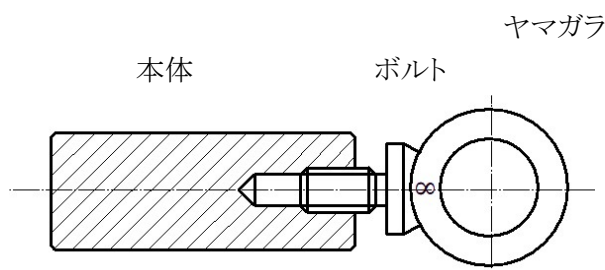
小鳥がよってきたら、隠れて見る方が良いでしょう。

もともと、そのあたりを「なわばり」にしている小鳥が集まってくるはずです。

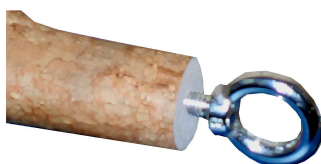
気遣い 5月～6月は小鳥の繁殖時期に当たる場合があります。

神経質な小鳥は、外部からの侵入者に警戒するあまり、営巣をやめる事もあります。

家の周辺でしたらそれほど気にする事ありませんが、山野では注意しましょう。



シジウカラ



(C) 2005-2021 K.Murata